

宇治市未来キャンパス

子供×宇治×未来

鳥本 林 山田



テーマ・背景



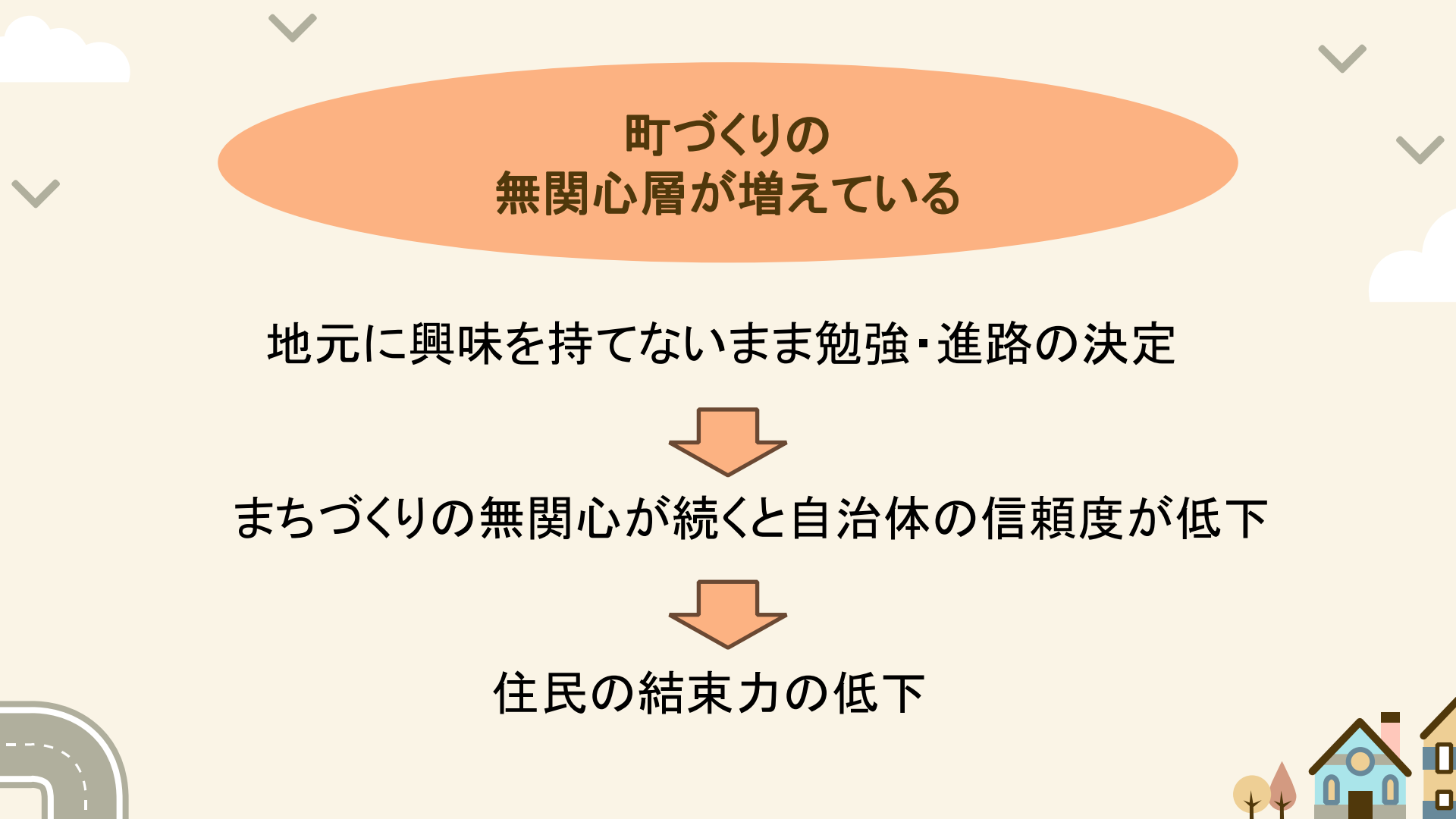
宇治の隠れた魅力を発信したい



テーマ・背景

賑わう町と自然が融合する宇治





町づくりの
無関心層が増えている

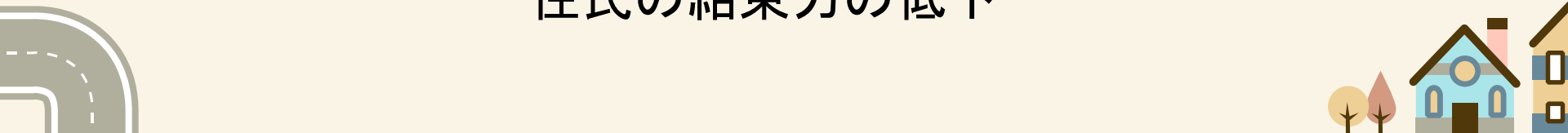
地元に興味を持たないまま勉強・進路の決定



まちづくりの無関心が続くと自治体の信頼度が低下



住民の結束力の低下



生産年齢の流出 関係人口の減少



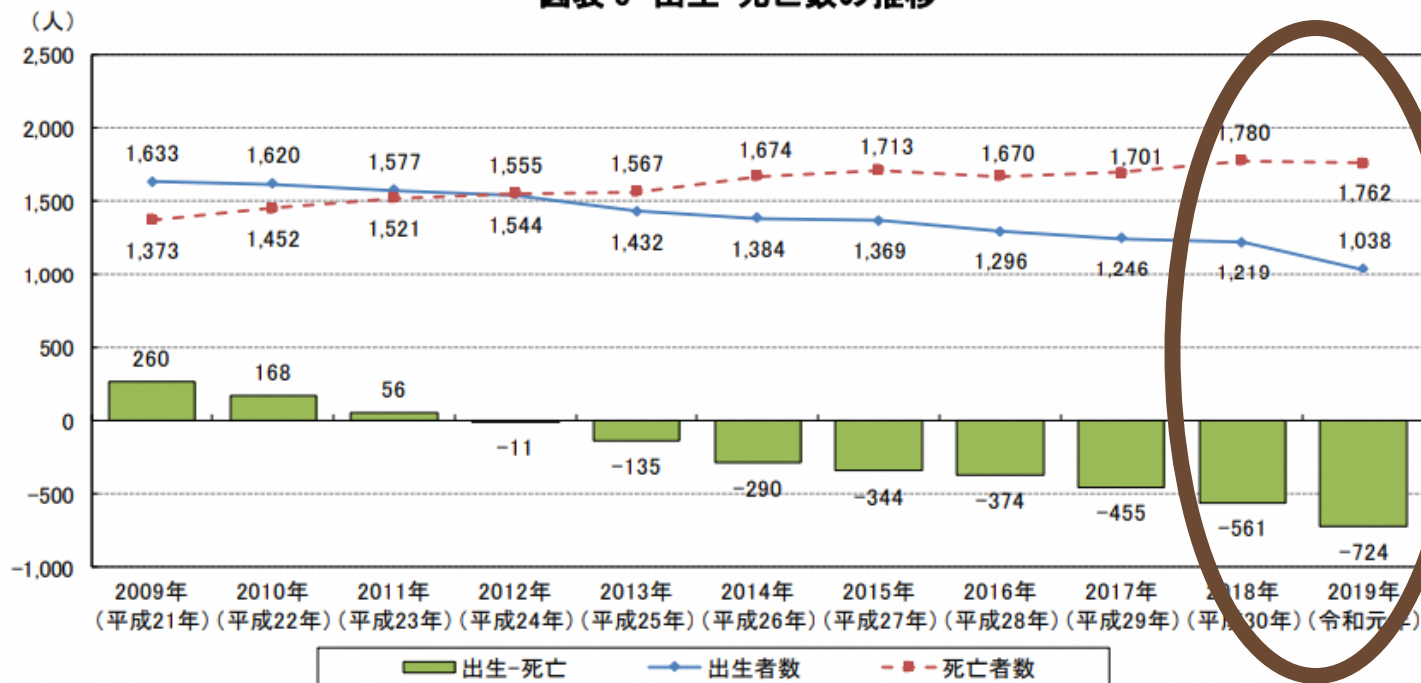
ターゲット

宇治市に住む小学生

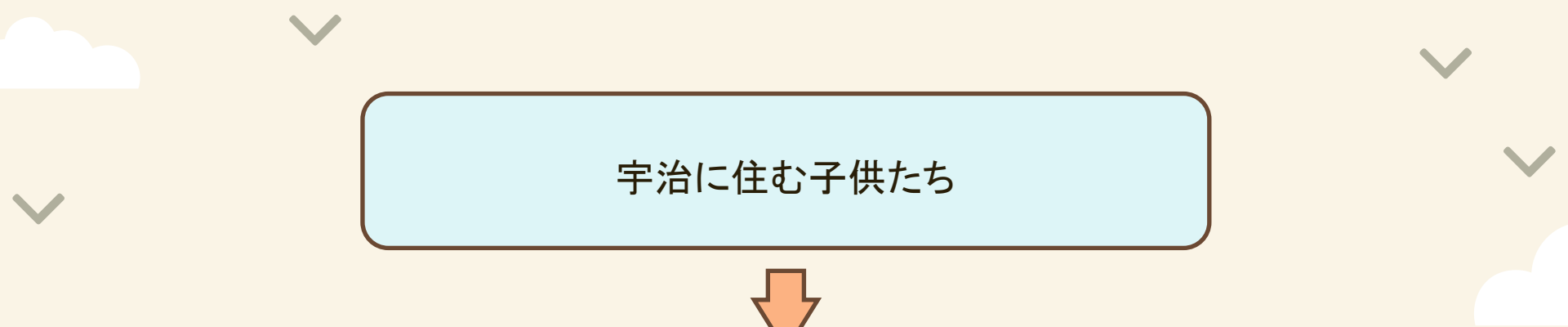


第二期宇治市人口ビジョン 宇治市まち・ひと・しごと創成総合戦力

図表 6 出生・死亡数の推移



資料) 住民基本台帳(すべて年間の届出数による。)



宇治に住む子供たち



幼い頃から宇治をよく知っている・関心がある状態



「地元就職をする」という選択肢を視野に



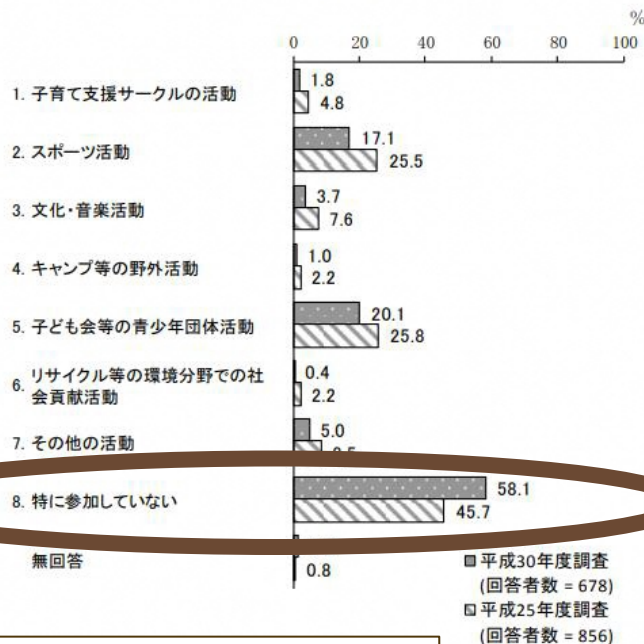
宇治市の子ども・子育てを取り巻く現状と課題

【小学生】

H30 調査では、「8.特に参加していない」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「5.子ども会等の青少年団体活動」の割合が 20.1%、「2.スポーツ活動」の割合が 17.1%となっています。

H25 調査と比較すると、「8.特に参加していない」の割合が 12.4 ポイント増加し、「2.スポーツ活動」、「5.子ども会等の青少年団体活動」がそれぞれ 8.4 ポイント、5.7 ポイント減少しています。

<小学生>

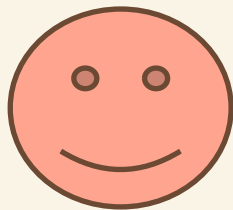


子供の地域での催しへの参加状況

宇治の町を学べる子供向けの
イベントがない



N=1



- ・理科や実験が好き
- ・体を動かしたい

小学3年生の妹

子供のワクワクを引き出しながら町のことを学んでもらう



解決策

宇治市サイエンス部



子供の興味を引き出しながら宇治を学べる企画



宇治市サイエンス部第一段

トビケラってどんな虫？



- ・ 宇治市民なら知らない人はいないトビケラ
- ・ 実は綺麗な川にしかいない虫
- ・ 自然豊かな宇治の町のシンボルの存在？！





ヒアリング調査 9月13日

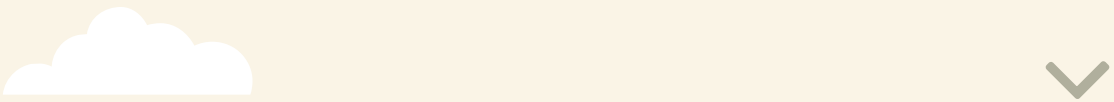
宇治市環境企画課-矢木さん

環境企画課-トビケラの生育環境研究・駆除策の考案，推進をされている

- ・今いるトビケラを駆除しすぎると他の生態系に影響が出る可能性アリ
- ・トビケラの生物学的な知識 助言可能◎

こんなに市街地とダム(トビケラの発生源)・トビケラが近いのは宇治だけではないか





プラン①中宇治まちあるき



14:00 源氏物語ミュージアムに集合

14:10～14:40 フィールドワークスタンプラリー

14:40～14:50 休憩

14:50～15:00 座学

15:00～16:00 トビケラクラフト トビケラの折り紙or塗り絵をし
茶瓶にはる

16:00 クロージング解散





プラン②アクトパル宇治で自然を体感

14:00 アクトパル宇治に集合

14:30-15:00川でトビケラを探す(虫かご,網,ルーペ,シャーレなど)

15:00-15:30採取して観察、学ぶ

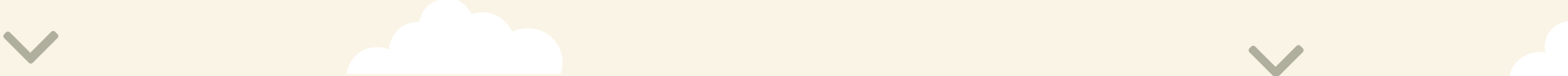
環境企画課のトビケラに詳しい人の助言を貰いながら生物学的な授業
体の仕組み・習性など(パワー形式)

15:30-16:00工作

ペーパークラフトもしくは粘土でトビケラを作る&持って帰ってもらう
モデルとしてトビケラ(成虫の)剥製置いておく

16:00 クローキング 解散





企画による効果



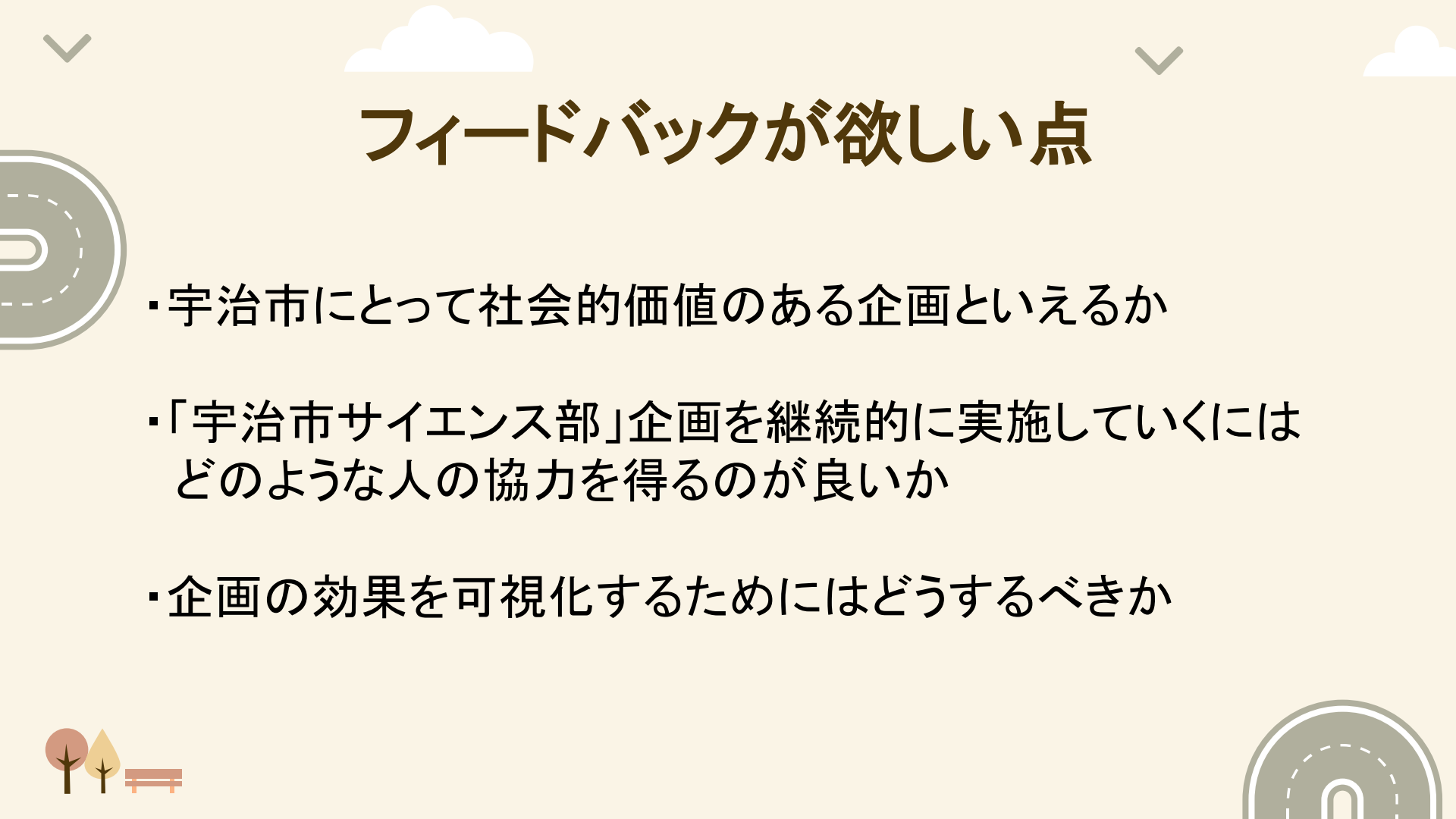
短期的な効果

- ・実際に体験することで**好奇心**が育まれる
- ・家に作品を持って帰ることで**家族に学びを共有できる**

長期的な効果

- ・サイエンス部で学んだことがその後の**学習や進路決定**に役立つ
 - ・原体験を通して**宇治市に対する思い出**が生まれる
- 





フィードバックが欲しい点

- 宇治市にとって社会的価値のある企画といえるか
- 「宇治市サイエンス部」企画を継続的に実施していくにはどのような人の協力を得るのが良いか
- 企画の効果を可視化するためにはどうすべきか

